

Futaba® 1M23N26732

テレメトリー電流センサー

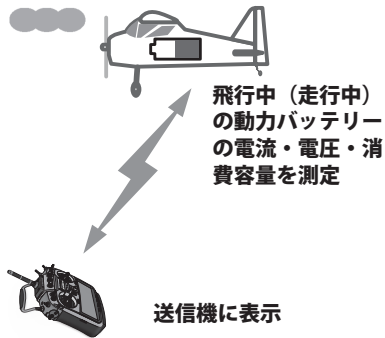
SBS-01C

取扱説明書

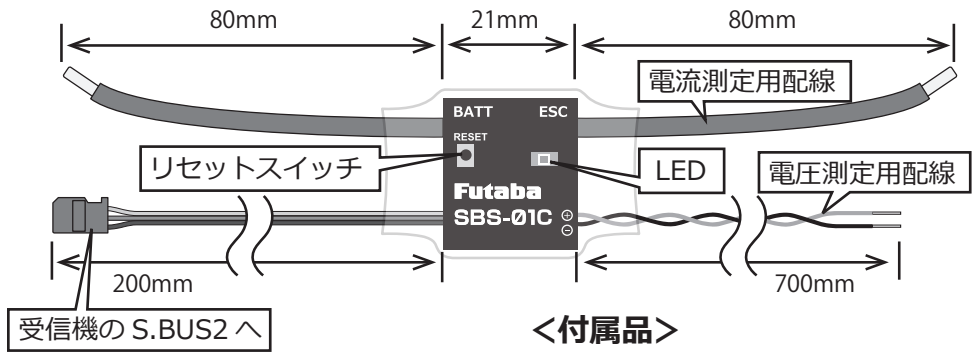
- SBS-01C対応プロポセット
- T18MZ-WC
- T18MZ (V2.6以降)
- T18SZ (V1.4以降)
- T4PX (V1.4以降)

(2016年5月現在)

このたびはテレメトリー電流センサー SBS-01Cをお買い上げいただきありがとうございます。本説明書をよく読んで正しい使い方により末永くお楽しみください。



※取付にははんだ付配線が必要です。



< SBS-01C 仕様 >

用途：テレメトリー電流センサー
 測定項目：電流 (0 ~ 150A)
 電圧 (0 ~ 70V)
 消費容量 (0 ~ 32767mAh)
 ※電流値が 1A 未満の場合計測不能
 重量：23g
 定格電圧：DC3.7 ~ 7.4V
 定格電流：0 ~ 70A (常時)
 70A ~ 150A (10 秒以内)

機能

●**テレメトリー表示：**
 接続した動力用などのバッテリーの飛行中の電流、電圧、消費容量が、テレメトリー送信機にそれぞれ表示され、バッテリーの状況が把握できます。

LED 表示

緑 -- 正常動作時
 赤 -- 無信号時
 緑 / 赤点灯 -- スロット No. 設定時
 緑 / 赤交互点滅 -- 異常時
 (カスタマーサービスにお問合せください。)

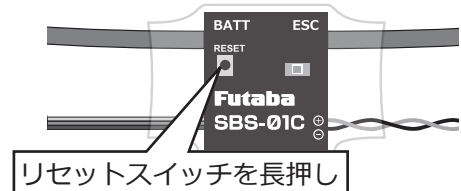
< 付属品 >



リセット機能について

バッテリー消費容量は使用するたびに加算されていきます。

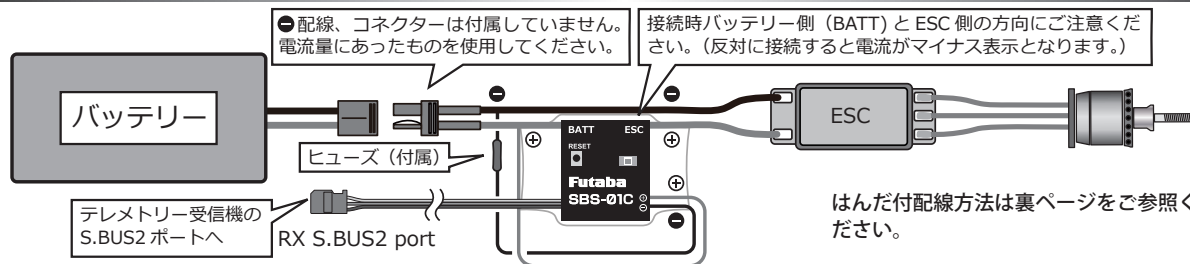
電源の OFF や配線をはずしてもリセットされません。



消費容量が 0 にもどります。1 フライトの消費容量を知りたい場合、フライト前にリセットしてください。

※リセット後すぐに (5 秒) 電源を OFF してしまうとデータが保存されません。

接続例

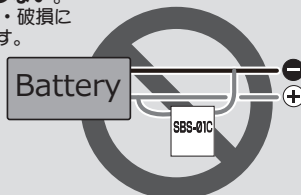


警告

- SBS-01C は必ずテレメトリー機能付 Futaba 受信機の S.BUS2 ポートに接続して使用する。
 ■従来の S.BUS ポート、CH 出力ポートに接続しても動作しません。
- コネクターの極性に注意する。
- コネクターはしっかり差す。
 ■飛行、走行中にコネクターが抜けると操縦不能になり、大変危険です。
- 防振対策を施し、燃料や水分がからない位置に取り付ける。
 ■本製品には電子部品が使用されています。振動、衝撃、高温等に対する保護対策を施してください。
- 配線ケーブルは機体搭載時、引っ張られた状態ではなく多少余裕があるようにする。
 ■ケーブルが引っ張られた状態だと、振動により、配線切れやコネクター抜けによる、動作不良の恐れがあります。
- 磁性体付近に搭載しない。
 ■磁性体に近いと電流値が正しく測定できない場合があります。

模様の燃えやすい場所に搭載しない。

- 密閉されて熱がこもったり、発火しやすい場所に設置すると火災の危険性があります。
- 組立後は必ず動作検査を行う。
 ■検査が終わるまでは飛行・走行させないでください。
- 表示されるのはバッテリーの残容量ではありません。
 ■残容量と勘違いすると飛行中バッテリー切れになる危険性があります。
- 定格電流を超える電流を流さない。
 ■定格電流を超える大きな ESC、モーターには使用しないでください。故障して墜落する危険性があります。
- ラジコン模型以外には、使用しない。
- 電流測定用配線を下図のように＋に接続しない。
 ■発熱・発火・破損につながります。



スロット設定

SBS-01C は、連続する 3 つのスロットを使用します。初期設定で開始スロットは 24 に設定されています。それ以外で使用する場合開始スロットとして割当てできるのは、下記の番号となります。

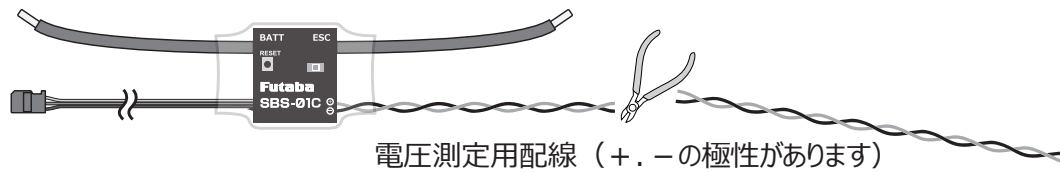
1, 2, 3, 4, 5, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 27, 28, 29

スロット No. の変更や表示方法、アラームの設定などはテレメトリー対応送信機の説明書をご参照ください。

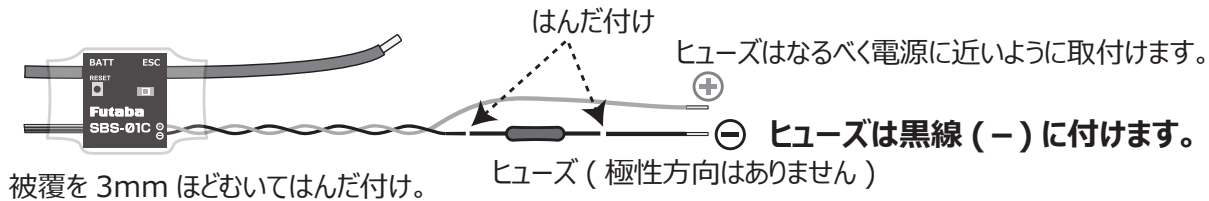
修理・アフターサービス、プロポに関するお問い合わせは弊社ラジコンカスタマーサービスへどうぞ
 < 受付時間 / 9:00 ~ 12:00・13:00 ~ 17:00、土・日・祝日・弊社休日を除く >
 ■双葉電子工業 (株) ラジコンカスタマーサービス
 〒299-4395 千葉県長生郡長生村藪塚 1080
 TEL (0475)32-4395

配線の方法

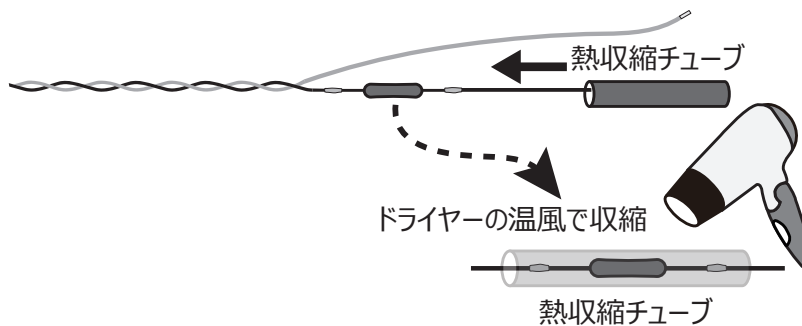
- ① 電圧測定用配線を必要な長さにカットします。



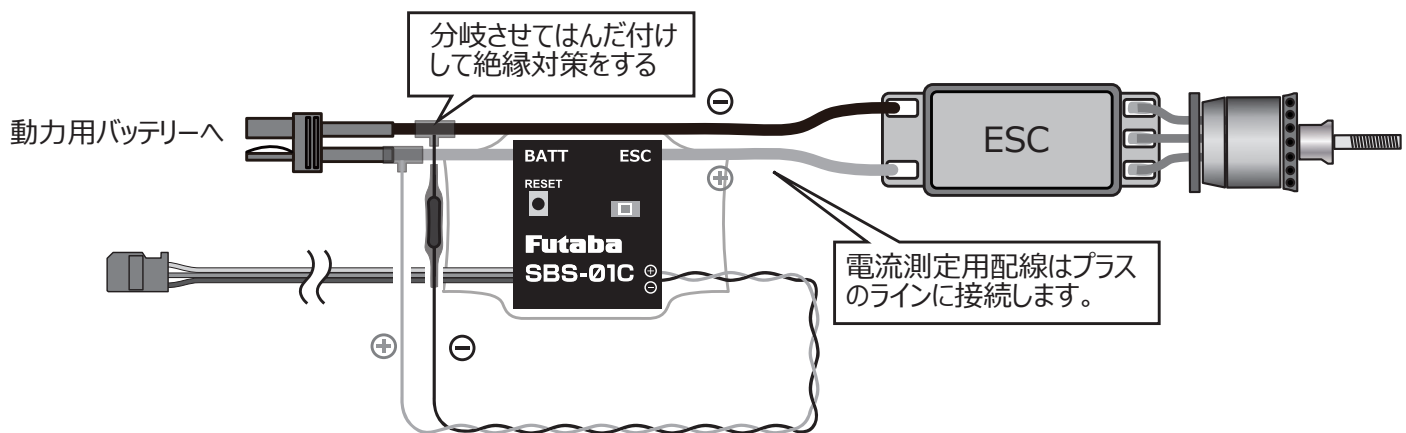
- ② さらに、黒 (-) 配線を 3cm ほどカットして被覆をむきヒューズをはんだ付けします。



- ③ 絶縁のため、付属の熱収縮チューブをかぶせて、ドライヤーで収縮させます。



- ④ 図のように配線します。



- ⑤ 取付けが完了したら送信機の説明書を参照し、送受信機の電源を入れ正しく表示されるか確認してください。

⚠ 危険

- ❗ ドライヤーの熱やはんだゴテで、やけどや火事にならないように十分注意してください。